

Gesuido Joshi Journal

GJ Journal

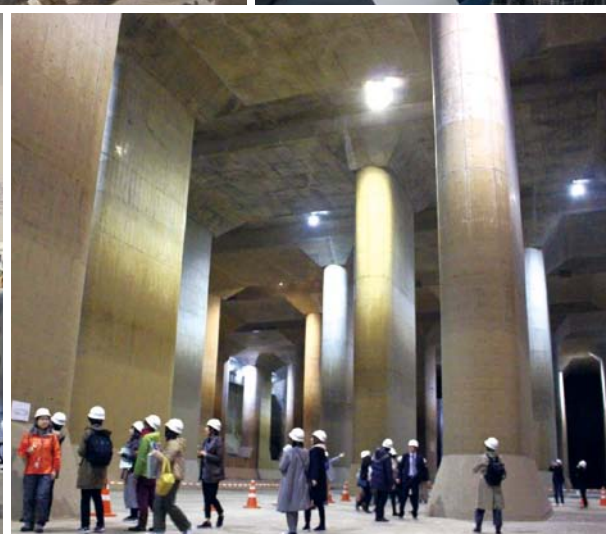
下水道分野で働く女性のマガジン

2020

春号

Spring

Vol.24



GJリンク

全国ワークショップ

令和元年度 GJリンク全国ワークショップを開催しました!



02 | GJ PhotoSnap

03 | 【特集】
令和元年度
GJリンク全国ワークショップ

07 | GKP HOTNEWS
国土交通省からの愛のメッセージ

08 | GJ Column
見つけちゃった!下水道あんなニュースこんなニュース
地下カンロを流れるよもやま話



GJが街で気になったことや 話題のモノを写真で紹介します。

台湾の雨水貯留施設



▲この写真は台湾の観光施設です。その地下には・・・下の写真のように雨水貯留施設があります。漢字で書かれているので何となく仕組みが分かりますね!



成田空港で活躍する蓋たち



▲普段、飛行機の離発着であわただしく過ぎてしまうであろう成田空港。でも下を見てみると面白い蓋があるんですよ。左の蓋は真ん中が地球儀のようにデザインされています。成田空港のキャラクター「クウタン」のデザインマンホール蓋もありました!

現地さながらの演出に脱帽〜ディズニーシー

皆さんおなじみの東京ディズニーシー。そのエリアごとに現地さながらの雰囲気を感じさせてくれますが、ぜひ下も見てみて下さい!



▲イタリア・ヴェネツィアを模したエリアでは雨どいだけ見てもおしゃれ・・・



▲20年代アメリカを模したエリアでは「マンハッタン」と書かれた蓋を発見。DPWがどんな意味か気になりますね。

「GJリンク」とは

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同僚がいない、ロールモデルとなる先輩女性が少ない等の悩みをもつことも多いようです。

そこで下水道広報プラットフォーム(GKP)内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会(愛称:GJリンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。

GJ Journal Vol.24 2020 春号 (2020年3月発行)

発行 : 下水道広報プラットフォーム(GKP)
編集 : GJリンク事務局
下水道広報プラットフォーム(GKP)事務局
(公社)日本下水道協会広報課
デザイン: 株式会社紙藤原

※「私の下水道」、「地域別特集」および「編集委員」に記載されている所属は2020年3月末時点の所属です。



特集

令和元年度 GJリンク全国ワークショップ

GJリンクでは、令和元年11月21、22日に令和元年度全国ワークショップを開催しました。
今回は浸水対策をテーマにし、21日に約70名、22日に約50名の方にご参加いただきました。

11月21日 日本下水道協会でワークショップ

21日には(公社)日本下水道協会の会議室でワークショップを開催しました。来賓として、国土交通省下水道部の植松龍二下水道部長にご挨拶いただきました。下水道行政の最近の話題や災害対応についてもご講演いただき、参加したGJにエールを送っていただきました。



植松部長



会場は超満員!!!

都市の豪雨に対する浸水対策特別講座

JS日本下水道事業団研修センターの長澤不二夫専任講師に、都市の豪雨に対する浸水対策の特別講座を開いていただきました。外水氾濫と内水氾濫の違いを解説いただき、また各都市における雨水貯留浸透の取り組みをご紹介いただきました。

講義後には、GJも参加して土の浸透能力を比較する実験を行い、4種類の土砂に水を注ぎ浸透性の違いを確認しました。



長澤専任講師



▲4種類の土砂で浸透能力を比較しました。土砂によって浸透能力が異なることがよく分かりますね。



◀1,000mlの水を土に浸透させるとどうなるかも検証しました。

ディスカッション

①「雨に備えて...市民への広報を考えてみよう」、②「あなたの職場での働き方改革」の2テーマで、10班に分かれてディスカッションを行いました。



ディスカッション全景

①で出た意見

Twitter、Facebook、YouTubeといったSNSを活用した広報が多く提案されました。SNSについては発信しっぱなしではなく、市民からの情報提供を求めたり、より興味を引いてもらうコンテンツ作りを行うといった発展的な意見も出されました。一方でそもそもSNSに登録してもらうことが課題であり、登録させるための工夫(下水道ポイントを作る、SNSの登録方法をレクチャーする)まで議論が及んでいる班もありました。

市民には緊急時に必要な情報と平時で守っていただきたい情報の両方を理解していただくことで、雨への対策が万全にとれるようになるという意見もあり、緊急時の備えとして、常日頃から広報し続けていくことが重要と感じました。

②で出た意見

女性への配慮や女性特有の問題を話しやすい環境づくりといった意見が出るが多く、まだまだ女性が少ない職場であると感じました。

その一方で働き方については女性も男性も関係なく職場の環境改善をすべきという意見も多くありました。環境改善は大きく「働きやすい環境整備」と「業務の効率化」の二つに分けられ、前者で最も多かったのはフレックス制度の導入や、ノー残業デー。後者はスカイプやテレワークといった遠隔で業務を行うことができるツールの活用が出ました。

通信技術が進歩し、いつでもどこでも仕事ができる時代になりましたが、行政と民間企業では仕事の拘束時間や業務内容は異なります。また、個人の置かれている状況も人様々です。

そのように様々な状況の人々が働きやすい職場を目指すヒントがこれらの意見の中にあると感じました。



▲発表風景。今回は発表時間を2分と制限させていただきましたが、どの班も分かりやすく簡潔に発表していただきました。



岡久理事長

最後に(公社)日本下水道協会の岡久宏史理事長に「積極的に討論されていて非常によかったと思う。この中で出た意見をぜひ職場環境の改革へとつなげていってほしい」と講評をいただきました。

一日目お疲れ様でした!
二日目も頑張りましょう!!



11月22日

首都圏外郭放水路& さいたま市・雨水調整池見学

首都圏外郭放水路見学

22日には、埼玉県春日部市にある首都圏外郭放水路の調圧水槽（地下神殿）と第1立坑を見学しました。

首都圏外郭放水路は地下約22mの位置に作られ、長さ177m、幅78m、高さ18mに及びます。豪雨時には雨水を中小河川から江戸川に排出する施設です。令和元年10月の台風19号時にも稼働し周辺河川の氾濫を防ぎました。

※今回は施設の都合上、参加者を50名に限らせていただきました。



◀▲地下神殿の見学の様子



◀▲第1立坑の見学の様子



さいたま市・上落合雨水調整池見学



▲歩道の一角から地下へと入ります。



雨水が集約される調整池があります！

希望者でさいたま市の上落合雨水調整池を見学しました。こちらの施設はさいたま新都心地区の浸水対策の一環として作られた施設です。調整池に集められた雨水の一部は浄化し、さいたま新都心地区で修景用水や親水用水として活用されています。



GJの視線の先には…

実際にワークショップに参加された方よりコメントを頂きました！

お客様への対応等があるにもかかわらず、下水道の事務職には研修の機会がありません。
職域の境を超えた、良い機会でした。

なかなか見学できない場所に行くことができ
とても良かった。また実験等でわかりやすい講義でよかった。

GJリンクのワークショップに参加したことのあつ職員が職場ではほとんどおらず、よく知らなかったのですが、
今回参加し、施設見学やグループワークなど、とても充実した2日間でした。ありがとうございました。

2日目の施設見学では自由な時間が多かったため、直接担当者に質問をしたり、
GJの方々の現場の状況など関連した情報交換もでき良かったです。
日ごろ自治体や企業の方としっかり話をする機会が少なく、ざっくりとに話せる機会は
自分の視野を広げるとともに、誇りをもって仕事に取り組む姿に感化されました。
貴重な機会をありがとうございました。

懇親会もざっくりとに話して楽しかったです。
このような機会を作ってくださりありがとうございました！

自治体職員の方だけでなく民間企業の方とも話す機会になったので
大変良かったです。

普段職場では女性が少ないため女性同士で仕事の
話などなどできて、とても素敵な時間を過ごすことができました。

市町によって特色が異なっていたため大変参考になった。
また、ここまで多くの女性職員の方と会うこともなかったため、
参加してよかった。

なかなか下水にかかわる女性技術職の方との
交流の機会はないので、大変有意義でした。

GJリンク全国ワークショップでは
大変お世話になりました。
職場へ今回の内容を
報告したところ、好評でした。

皆さんが様々な環境で
同じような悩みを抱えておられることを知り、
励まされました。

様々な地域・年代・職種の方とお会いできる機会は
そうそうないので、大変刺激を受けました。
今後の業務に活かせる！と思いました。

アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

(アンケート期間：2019年12月3日～12月30日 / 対象者：ワークショップ参加者全員)

お知らせ

第52回ミス日本コンテスト2020開催

～「水の天使」に中村 真優さんが選出されました～

1月20日(月)に「第52回ミス日本コンテスト2020」が開催され、2020ミス日本「水の天使」に千葉県出身の大学生、中村真優さんが選出されました。

NPO法人「こどもの教育を支援する会」の代表としてチームを率い、将来は「教育界における女性活躍のロールモデルになりたい」と話す、将来が楽しみな社会派な中村さん。様々な活動を通じて磨かれた行動力もあり、今後の活躍も期待できます。

お披露目イベントとなった2月1日に開催された全国下水道職員健康駅伝大会では、今後の抱負などお話をされ、参加者と交流しました。

ミス日本「水の天使」は水の広報官・外交官の役割を担い、日本全国の上下水道に関わるイベントや水に関する国際会議への参加を通じて、世界に誇る水の知恵と文化を伝える役割を担います。今後も多くの下水道イベントにも登場していただきますので、皆様どうぞ楽しみに!



▲2019ミス日本「水の天使」の西尾さん、谷さんと一緒に



▲駅伝大会にも参加しました

国土交通省下水道部からの 愛のメッセージ



vol.18

はじめまして!!下水道事業課研修員の山本(京都市)と下水道企画課研修員の池田(浜松市)です。

私(山本)の担当業務は予算や工事事故なのですが、11月のGJリンク(首都圏外郭放水路の見学)にGD枠で一緒したこともあり、今回は研修員2人から愛のメッセージをお送りします。ちなみに、私はお揃いのランニングウォッチ

をしている内の一人です(GJ Journal vol.22参照)。

私(池田)は、企画調整ラインとして金子係長と一緒に下水道の広報等を担当しております。1月31日に開催した「令和元年度下水道場」にご参加の皆さま、ありがとうございました。当日、完璧な裁きで司会を進行していたのは私です。下水道場は、下水道関係の若手職員のつながりの場として設立されたもので、その趣旨はGJリンクと似た部分があります。いつかコラボできると面白いかもしれません。

さて、当メッセージコーナーではランニングのネタが続いておりますが、皆さんは2月1日に開催された下水道健康駅伝に参加されたでしょうか。私(池田)は国交省チームとして参加したのですが、身体の老朽化(緊急度I)が顕わになり、BM(ボディマネジメント)の大切さを

痛感しました。。。

私(山本)はトレーニング後の銭湯と反省会につられて大会前に少し皇居ランをしておりましたが、反省し過ぎたせいか、記録は伸びませんでした。。。来年に向け身体強靱化に励みたいです。

駅伝はタスキを繋いでチームでゴールするので、メンバーが頑張っているから私も頑張ろうという気持ちが芽生えて、1人で走るときよりも頑張れますよね。きっとGJリンクも、役職や自治体にとらわれないチームで切磋琢磨できることで、そんな気持ちが芽生える”繋がり”なのだろうと思います。

私たち研修員もGJ皆様のご活躍に負けないよう、残りの研修員生活を全力で走りきります!!

(下水道事業課研修員 山本 & 下水道企画課研修員 池田)



GJ Columnでは毎月皆さんに役立つちょっとした小ネタを紹介していきます。
時間のある時に読んでみてください。
皆さんの生活に下水道が少しだけ近づいた気分になるかもしれません。

スラロームの水流



地下カンロさんが管理人を務めるブログ「YOUNG 下水道season2」に寄せられたコンテンツの中から、GJ Journal事務局がおススメの記事をご紹介します。



地下カンロさんの仲間
幹太さん

Profile

下水道と競馬とゲームを愛する風来坊(♂)。ブログ「YOUNG 下水道season2」に、定期的にコンテンツを更新中。
下水道のトピックのみならず、あらゆるジャンルのよもやま話を掲載している。

今年はずいぶん知られたオリパライヤーですね。
今回はメダル候補が沢山いるので、応援のしがいがあるというものです。
バトミントン男子の桃田選手は事故の後遺症が心配ですが、きょう間に合って活躍してくれると信じています。
ただチケットは全く当たらなかったのが、マラソンの二次募集も当たる気が全くしません。きょうとテレビ観戦も良いものですね。
それにしてもオリパラと下水道とは関係が深いんですね。
マラソンは東京ではなくなりましたが、皇居のお堀やお台場の水質改善、雨が降ったら速やかな排除と、下水道がなければオリパラもなかったと言ったら大げさでしょうかね。
この間もテレビを見ていたら、カヌーのスラローム会場の水の流れが下水道のポンプから排水される水に見えて仕方がありませんでした。
関係者全員で、オリパラの成功を目指して欲しいと思います。

カヌーちよこつと豆知識

数千年の昔から、水上の移動手段として世界各地で人々に親しまれてきたカヌー。スポーツとしてのカヌーは19世紀にイギリスで近代スポーツの1つとして普及しました。
カヌーのオリンピック競技としては、静水でスピードを競う「スプリント」と、流れの上流または下流から吊るされたゲートを通ってタイムを競う「スラローム」があります。
スラロームは川や湖、またそれに似た屋外の人工のコースで行われるので、大自然と一体となる爽快感が最大の魅力となっています。風を感じながら水上を疾走する気持ち良さを、観戦者もともに味わうことができる競技です。



見つけちゃった!

vol.19

下水道あんなニュース こんなニュース

東京2020大会仕様デザインマンホール蓋が作成されました!

いよいよ今年の夏に開催される東京オリンピック・パラリンピック。それに合わせて東京都では、東京2020大会仕様の5種類のデザインマンホール蓋が作成されました。これらのマンホール蓋はライブサイト会場やパブリックビューイング会場などに設置され、下水道の魅力を発信するとともに大会開催の気運醸成、シティドレッシング、そして大会終了後にはレガシーとしてつながっていくことを目的として制作されました。カラーは5種類。日本の伝統色「紅」「藍」「桜」「藤」「松葉」をベースに作成され、都内の20か所に設置されます。昨年12月19日(木)に行われたセレモニーでも、多くの報道関係者向けにそのマンホールがお披露目されました。詳細な設置場所については、シークレットとのことですが、今回記者発表が行われた江東区・夢の大橋付近のみならず、東京都内にも複数箇所設置されるとのことです。来る東京2020大会に向けて、ぜひ20枚の限定デザインマンホール蓋も一緒に探されてみてはいかがでしょうか?



▲セレモニーの様子



紅



藍



桜



藤



松葉

今月の表紙

2019年11月21日、22日の両日開催したGJリンク全国ワークショップ。今月号の表紙には、そんな全国ワークショップの様子が伝わる写真をいくつかピックアップしました。

今回史上初の2日間開催にも関わらず、北は北海道、南は沖縄まで全国津々浦々からGJに参加頂きました。特集記事にも記載がありますが、今回は諸般の事情により、2日目の人数に上限がありました。事務局もぜひ皆さんに参加していただきたかったのですが、参加できなかった方、本当にすみません!ただ、今後もGJリンクではGJの交流の場を、どんどん創出できればと考えています。ぜひ特集記事もご覧いただき、次回開催のワークショップも楽しみにしていただければと思います!皆様のご参加、心からお待ちしております!

